

○ 市政報告等		
(1) 市長からの市政報告		
・まちづくりの転換期 ・全国屈指の森林観光都市 ・令和7年度予算規模について ・市制施行70周年記念事業 ・令和7年度の主な取り組み 1-1 健康で安心して暮らせるプロジェクト ～ネイチャーポジティブ宣言～ 1-2 健康で安心して暮らせるプロジェクト ～プラスチック一括回収の毎週収集化～ 3-1 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト ～OMOTANコイン～ 3-2 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト ～多世代交流施設の整備～ 3-3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト ～はだのスポーツビレッジ～ 4-1 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト ～土地区画整理事業など～ 4-2 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト ～羽根森林資源活用拠点(仮称)の整備～ 5 横断プロジェクト「移住・定住活性化プロジェクト」 ～はだのOMOTANライフ応援事業～ ※その他の事業は、資料を別添。		市長
(2) 総合計画後期基本計画素案(基本計画及び地域まちづくり計画)の説明		
・計画の期間と構成 ・PDCAサイクルによる計画のマネジメント ・リーディングプロジェクト ・施策大綱別計画(概要) 第1編 誰もが健康で共に支えあうまちづくり ・施策大綱別計画(概要) 第2編 生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくり ・施策大綱別計画(概要) 第3編 名水の里の豊かな自然と共生し安全・安心に暮らせるまちづくり ・施策大綱別計画(概要) 第4編 住みたくなる訪れたくなるにぎわい・活力あるまちづくり ・施策大綱別計画(概要) 第5編 市民と行政が共に力を合わせて創るまちづくり ・地域まちづくり計画 ・【地区】地域まちづくり計画 ・今後のスケジュール	・社会潮流と基本的な策定の視点 ・計画の基礎指標 ・施策大綱別(分野別)計画の体系	総合政策課長

○ 意見交換	
(1) 地区からのテーマに基づく市政報告	
【市からの状況説明】	
○矢坪沢の整備の進捗状況について ・秦野丹沢スマートインターチェンジ周辺では、矢坪沢の整備のほか、土地区画整理事業及び都市計画道路菩提横野線の整備が進められている。 ・土地区画整理事業に伴う造成工事によって、約13ヘクタールの産業用地が整備される。 ・公民館前の市道51号線の道路の拡幅も行い、令和10年度頃の造成工事の完了を見込んでいます。 ・スマートインターチェンジと中心市街地や既存の工業団地を結び、かつ新たに産業用地へのアクセス道路にもなる都市計画道路について、矢坪沢と平行に道路が整備できるイメージとなる。工業団地入口からスマートインターチェンジの入口交差点まで約1280mとなり、幅員は16mを予定している。 ・事業スケジュールは、上流側の第1期事業区間740mが、令和9年度末の部分供用の開始、下流側の第2期事業区間540mが令和14年度末の供用開始を目指している。 ・矢坪沢は、昭和55年に砂防指定地に指定されていて、今回の事業は下矢坪橋の下流側から、スマートインターチェンジ交差点までの約880mの区間が未整備となっている。 ・具体的な整備は、法面の崩落及び土砂災害対策のために護岸等の整備工事を行うもので、令和9年度末の整備完了を目指している。 ・現在の進捗状況は、市道51号線から上流の約660mの樹木の伐採と、沢に降りるための仮設道路の整備を行っており、この冬に完成予定としている。 ・このエリアでは非常に規模の大きい工事が長期間にわたり続くことになる。通学する児童・生徒をはじめ、この地区の皆様には多大なご不便とご迷惑をおかけすることとなるが、工事には安全対策をしっかりと講じた上で施工していくため、ご理解ご協力をいただきたい。	建設部長
■ 秦野丹沢スマートインターチェンジ周辺の整備事業 事業位置図  菩提横野線と矢坪沢のスケジュール  完成後のイメージパース  ■ 矢坪沢の整備について 工事箇所と整備スケジュール  整備後のイメージパース 	

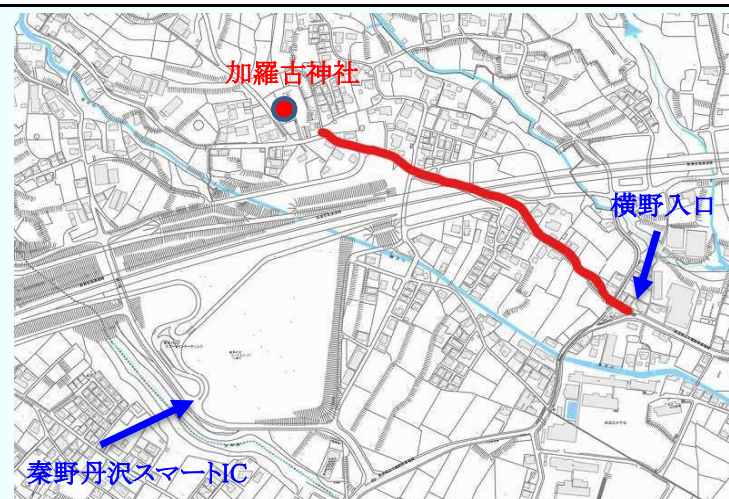
(意見、要望)	・公民館から矢坪沢に入った道路のところの畑付近に女性用の衣服が2つの山になっていた。警察に連絡したが、事件性はないとのことだったが、この場所は、以前から不法投棄が多い場所であったため、早めに対応していただけたらありがたい。	菩提原自治会
	○サービスエリア周辺の活用について ・令和9年度に予定されている新東名高速道路の全線開通と合わせ、開業が予定されているサービスエリアについて、平成30年11月に、中日本高速道路株式会社に対して、スクリーンに表示している10項目の要望書を提出している。 ・その中で、(1) サービスエリアの名称については、令和3年10月に、本市の意向を反映した、「秦野丹沢サービスエリア」に決定していただき、また、(2) 救急医療用ヘリポートの整備については、下り線に設置していただく予定となっている。また、(3) 区域外とサービスエリアのアクセス導線の工夫については、上下線ともに高速道路の外からサービスエリアを利用できる、「ぶらっとパーク」の整備が計画されているため、特にサービスエリアに近い、北地区の皆さんにとっては、一つの商業施設が地元でできるようなものになると捉えている。このほか、(4) 秦野名水をPRする親水施設の設置や、(5) 商業施設への秦野産木材の使用、(6) 地元事業者の出店スペースの確保など10項目を要望している。 ・現時点で協議中の内容が含まれるため、詳細を申し上げることができないが、前向きに検討されているものも多くあり、内容が決まり次第、機会を捉えて地域の皆様へお知らせしたい。 ・「ぶらっとパーク」や「ヘリポート」の設置も予定されている。 ・新東名高速道路の全線開通は、本市の魅力を全国に発信する絶好の機会と捉えているので、同時に開業される秦野丹沢サービスエリアを通じて、地元の農産物や特産品の販売、観光農園や観光施設の利用促進など、地域産業や観光の振興により、地域経済の活性化につながり、地元にも親しまれる施設となるよう、引き続き、中日本高速道路株式会社と協議を重ねていく。 サービスエリア周辺の活用について 本市から中日本高速道路株式会社に対する10項目の要望（平成30年11月提出） - 秦野市の意向を踏まえたサービスエリアの名称決定 →「秦野丹沢サービスエリア」に決定済み（令和3年10月） - ヘリポートについて、救急医療用ヘリコプターの離着陸場としての登録 →下り線にヘリポートを整備予定 - サービスエリアから区域外に徒歩で移動できるよう、施設内の歩行者通路の設置やアクセス動線の工夫 →上下線において「ぶらっとパーク」を整備予定 - 秦野名水をPRする親水施設の設置 - 商業施設等への秦野産木材の使用及び市民と協働した道路施設の植樹事業の実施 - 商業施設等への地元事業者の出店スペースの確保 - 新東名高速道路から当区域及び相模湾を望むパノラマ展望台や案内看板（ジオラマ等）の設置 - 当市の事業等の情報発信や誘客を図るための観光案内所の設置 - 遺跡発掘調査成果である遺物や当市ゆかりの歌人の短歌等の展示並びに遺構（縄文時代の敷石住居址）の移築 - 高速バス停留所の誘致及び高速バス利用者の施設内駐車場の利用許可	政策部長
(要望)	・パワーポイントの資料をいただきたい。	横野下自治会

(2) 市政全般(市政報告及び総合計画後期基本計画素案含む)	
(質問) ・防災行政無線の更新及び機能拡充で、予算5,850万円とある。菩提の消防詰所の防災無線を移転したと思うが、地域の方から聞こえないとの声があった。この予算は、これらの防災無線が聞こえづらいことに対応する予算か。	菩提中東自治会
(回答) ・市内に115基ある防災行政無線があるが、これらの親機となるサーバー本体の設備更新にかかる費用として予算計上している。この機器は、昭和62年、平成10年、平成27年にそれぞれ更新している。令和7年度に10年を経過することから、更新するもの。また、防災無線は、市役所本庁舎3階の防災無線室から発信していたが、情報指令センターにタッチパネルを置くことで、タブレットから放送することも可能になる。例えば災害対策本部から、伝達内容を放送することが可能となる。 ・近年、気象条件や家の密閉率が上がったことにより、無線が聞きづらい状況も出てきているが、その時は、防災課に連絡をいただきたい。現地を確認させていただき、スピーカーの向きや音量の調整を行う。併せて、防災行政無線が聞き取りにくいといった方に、緊急情報メールや公式LINEなどで無線の内容を文面で情報を得ることも可能としている。また、事前に登録をいただき、プッシュ型で自宅の電話やFAXに自動配信するなどの機能もあるので、ご希望の方は、防災課に問い合わせしてほしい。	くらし安心部長
(質問) ・スピーカーは完全ではない。防災ラジオの導入を検討したことはあるか。 ・リチウム電池の火災が多発しているが、市として回収方法を検討しているか。	戸川原自治会
(回答) ・防災ラジオについて、以前に検討し、他の自治体に意見等を聞いた経過もあるが、受信できない地区も多く発生することがあることを確認したため、現在の伝達方法としている。伝達手段については、機能の向上等もしているため、さまざまな手段を検討していく。	くらし安心部長
(回答) ・リチウムイオン電池の回収方法について、環境資源センターや一部の家電販売店などで回収している。現時点では、電池協会が作っている団体は、回収するルートを確立できていない状況である。環境省からも全国自治体に再考するよう、話があるがため、県などとも協議を行っている。	環境産業部長
(要望) ・スピーカーは聞きづらいため、手軽に情報が入る仕掛けをしてほしい。 ・リチウム電池の捨て方が確立した場合、しっかり広報してほしい。	戸川原自治会
(回答) ・リチウム電池の捨て方について、新たな回収方法を確立した場合は、さまざまな形で広報していく。	環境産業部長
(質問・意見) ・総合計画2編4のスポーツにおいて、ピックルボールをメタックスはだののアリーナを借りて2月から始めているが、夕方に30分くらい電気が切れる問題が発生している。ミズノに確認すると、17時から消灯する規約となっていると言われた。ゲームしている最中に消灯されると、困るため、改善できないか。	戸川原自治会

(回答) ・体育館に行ったときに、ピックルボールをプレーされてるのを拝見した。 ・メインアリーナは、予約の枠として、午後は17時で区切っている。夜間は、17時30分からとなっているためであるが、状況を確認する。	建設部長
(質問) ・若者が定住するためのプロジェクトや、子育てのプロジェクトのPR方法は、どのようなか。	戸川中自治会
(回答) ・基本的には、ホームページで行っているが、Xなどの媒体も使ってPRしている。	政策部長
(質問) ・新東名高速道路の開通に向けた進捗状況は、どのようなか。	菩提原自治会
(回答) ・新秦野インターチェンジから新御殿場インターチェンジまでの間、約25kmあり、こちらのNEXCOが、工事を進めている。工事内容として、新秦野インターチェンジから西に向かって施工中、山北町から町田町にかけての高松トンネルは、約60%掘削が終了している。次に、やどりき双扇橋という名前の橋ですが、丹沢湖の入り口の交差点から右にある高い橋で、ほぼ橋の全景が見えてきており、順調に工事が進んでいると聞いている。秦野丹沢サービスエリアについては、NEXCOと商業施設と細かな調整を行っているという。未開通の全体の進捗率は、橋梁は79%、トンネル約49%、道路約70%の進捗状況（R6.11現在）である。	建設部長
(質問・意見) ・末広小学校に空調設備を試験運転中と聞き、良いことだと思った。今後、北地区の小中学校に空調設備が入るのか、また入るとすればいつ頃になるか。 ・防犯カメラは、有効な対策と考える。JCOMと協定を結んだが、設置状況は伸びてきているのか。	まちづくり委員会
(回答) ・末広小学校の体育館では、菩提の新晃工業が実証実験として導入している。実際に体感したが、熱中症対策には効果的であると感じた。来年の3月まで試験を行った結果を見て、対応を検討したいと考えている。広域避難場所23か所のうち、小中学校が22校になる。1か所約5,000万円であるため、できれば中学校区に1か所ずつくらい、まずは整備するなど、今後、総合計画後期基本計画に明示して、今後の整備方針を示していきたい。いずれにしても時間をかけずに整備をしていきたい。そのために実証実験の結果も踏まえ、しっかり設計をしていきたい。切迫してきている地震や風水害などの自然災害に対応できるよう、広域避難場所の整備に向けて取り組んでいきたい。	市長
(回答) ・自治会連合会、秦野市防犯協会そしてJCOMの3者で協定を締結した。その協定の目的として、犯罪被害を未然に防止し、防犯カメラの設置を推進し、市民の安全で安心な暮らしを実現すること、として今年の2月に締結をさせていただいた。まず、単位自治会で協定を締結し、安価に契約できる内容としている。協定を締結した自治会が9自治会あり、そのうちカメラの設置が7自治体あった。秦野市では、防犯協会でカメラ140か所約240台ぐらいの管理をしている。	くらし安心部長

(要望)

・バス通りから加羅古神社に向かう通りは、通学路に指定されているが、スマートインターの登りに入る車が多い。最近のナビゲーションの案内が、この道を誘導するため、グリーンベルトを作っていただくほか、通学の時間のみでも大型車の通行の規制をかけてほしい。



横野上自治会